

第 142 回 科学技術部会	参考資料2-2
令和6年12月12日	

令和7年度厚生労働科学研究に関する意見募集の結果について

令和6年10月18日
厚生労働省
大臣官房厚生科学課

令和7年度厚生労働科学研究について、令和6年8月9日（金）から同年9月9日（月）まで御意見を募集したところ、計11件の御意見をいただき、そのうち1件は本件とは直接関係のない御意見でした。

お寄せいただいた御意見とそれに対する考え方について、以下のとおり取りまとめましたので、公表いたします。なお、行政手続法第四十三条第二項に基づき、提出意見は整理又は要約しております。

皆様の御協力に深く御礼申し上げますとともに、今後とも厚生労働行政の推進に御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

No.	案に対する御意見	御意見に対する厚生労働省の考え方
1	【新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業】 非接触体温計につきまして、外来の近赤外線レーザーに関する耐性（イミュニティ）に関する研究をお願いいたします。非接触体温計が、近赤外線レーザー等のフォールト攻撃によって、誤動作して、本来は、平熱であるにもかかわらず、高温発熱と測定されて、経済活動を行われなくなるテロ攻撃の懸念がございます。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
2	【認知症政策研究事業】 ・認知症の早期発見・早期対応に関する実証的な事業を進め、スクリーニング検査の協力を国民に募り、現役世代の	認知症の早期発見・早期対応の体制整備に向けて、「共生に向けた認知症早期発見・早期介入実証プロジェクト研究」を推進してまいります。

	健康診断含め脳の検査・診断を広めその結果を研究に活かすこと。体制整備を早期に具体的に進めていただきたい。	
3	<p>【がん政策研究事業、難治性疾患政策研究事業、認知症政策研究事業】</p> <p>マイナンバー制度、マイナンバーカード保険証による医療診療・薬剤・ワクチン接種情報を活かし、がんや難病、認知症など病気の発症リスクを早期に国民に提案出来る体制整備の研究を早期に具体的に進めていただきたい。</p>	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
4	<p>【新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業、医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業】</p> <p>マイナンバー制度、マイナンバーカード保険証による医療診療・薬剤・ワクチン接種情報を活かし、薬剤被害、ワクチンの副反応の対応なども診療、投薬、ワクチン接種の情報から把握できるような体制整備に関する調査研究を進めてほしい。</p>	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
5	<p>【食品の安全確保推進研究事業】</p> <p>【課題名】ウエルシュ菌による食品の汚染実態把握及び検査法開発による同菌食中毒の制御のための研究」が挙げられているが、ウエルシュ菌（Clostridium perfringens ※1）だけでなく、セレウス菌（Bacillus cereus）についてのその汚染実態把握及び検査法開発による同菌食中毒の制御のための研究を行っていただきたい。</p> <p>※1 なお、本意見公募の書類にある「ウエルシュ」より「ウエルシュ」とした方が適切なのではないかとと思われる</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただいたご意見も参考に、引き続き、食中毒の発生状況等を踏まえ、必要な研究・調査等を行ってまいります。</p> <p>なお、「ウエルシュ」の表記については、食品衛生法における表記となっております。</p>

	<p>のであるが、どうか。Clostridium perfringens の過去名 Bacterium welchii は、その分離培養を行ったウィリアム・H・ウェルチ (William Henry Welch) から来た名称の はずであるが、ウェルチから来たのであればウエルシュではなくウエルシュであるのではないか。慣例的にも同菌には「ウエルシュ」がより多く用いられているのではないかと思われるが。</p>	
6	<p>【認知症政策研究事業】 認知症の方への取り組みとして行方不明の課題があると思います。安心して外出が出来る取り組み、認知症の方がでていく心理、人権に配慮した対応など、認知症の方や家族への聞き取りなど含め調査を進めていただきたい。対応策や現在の支援や体制への改善、見守り機材の仕様の統一、システム名称から徘徊という言葉無くすことや若年性認知症の方も支援していることがわかる名称にするなど、使い勝手の良いシステム整備を早急に研究し認知症の方も家族も安心して暮らせる社会の実現を目指してほしい。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>【認知症政策研究事業】 ・認知症になったり家族となったりすると、病院に通うのもそこで受診までの間長い時間待つことが苦痛になることが多く、それゆえ健康診断、人間ドックの受診を本人も家族も受けることが不可能になります。今まで普通に出来ていた医療支援が受けにくくなることの改善について調査</p>	<p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

	し、検査機器の開発研究、病院の動線の改良などにつなげていただきたい。	
8	<p>【認知症政策研究事業】</p> <p>企業組織における若年性認知症の雇用継続や介護離職対策など、明確な対応に関してのハローワークや企業向けのマニュアル作成、啓発のすすめ方の調査研究を行ってほしい。</p>	若年性認知症の方の支援については、「若年性認知症の病態・支援等に関する実態把握と適切な治療及び支援につなぐプロセスの構築に資する研究」において、研究を進めてまいります。
9	<p>【認知症政策研究事業】</p> <p>介護や本人の日々の生活の課題として不可欠な排泄に関して、認知症になった場合の課題や対応策の検討、サービスや商品の効率的で経済的な利用を進められる課題の把握、対応について早急に調査し研究を進めてほしい。</p>	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
10	<p>【新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業】</p> <p>事業目標に、「副反応についての研究およびその治療法の確立」を入れるべき。「これまでの研究成果の概要、及び政策等への活用又は実用化に向けた取組」の中で、「新規新型コロナワクチンを含むコホート調査並びに副反応シグナル全国調査（令和5年度）」という課題が挙げられているが、その結果は公表されているのか？していなければ公表すべきだが、成果の活用に記載されている「国内におけるワクチン有効性に関するエビデンスとして厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会等に示されるなど、新型コロナワクチンに関する科学的知見を提供することで、我が国</p>	<p>事業目標については、「適正かつ継続的な予防接種政策を行うため、ワクチンの有効性・安全性及び費用対効果に関する評価を行うとともに、データベースを活用した効果的かつ効率的なワクチンの評価のための基盤構築や、国民等に対する情報提供に関する研究を行う。」としており、安全性も含めた幅広い予防接種政策のための研究としています。</p> <p>ご指摘の研究課題については、厚生科学審議会に結果が報告され、議論を行っているところです。審議会の資料や議事録については下記のURLをご覧ください。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html</p>

	における新型コロナワクチンの接種方針の議論に貢献した。」と言いきれる根拠を示してほしい。	
--	--	--

※ これらのほか、本件とは関係のない御意見を1件いただきました。